

令和3年度 印西市民アカデミーだより 第4号

印西の歴史散策3（木下/竹袋・別所）

6月11日（金）、第3回目の歴史散策は、木下の山手といわれる竹袋・別所地区を散策しました。6kmほどの起伏のあるコース（市役所→ひょうたん島池→山崎池→竹袋稻荷神社→竹袋観音堂→地蔵堂→地蔵寺→木下別所廃寺跡→曾谷ノ窪瓦窯跡→市役所）でしたが、初夏の爽やかな風が吹いて気持ちよく歩くことができました。

竹袋稻荷神社



▶竹袋稻荷神社は、京都伏見稻荷神社から勧請された分霊社です。その創建は、和銅4年（711年）といわれ、約1300年もの間、人々に信仰されてきました。現在の建物は、昭和10年に改築されたものです。

竹袋稻荷神社の祭礼



▶竹袋稻荷神社の祭礼は、秋の収穫が終わったところに豊作に感謝するために催されます。今日は、10月の中旬の3日間、神輿、山車が囃子の音によって木下の町中を賑やかに巡行しています。

竹袋観音堂の石仏



▶竹袋観音堂の左側手前に石仏が多数並んでいます。
 ㊦阿弥陀如来（1668年）
 ㊦聖観音庚申塔（1661年）
 ㊦十九夜塔（1673年）
 3基とも寛文年代の石仏で㊦は印西市最古の庚申塔です。

宝泉院地蔵寺



▶宝泉院地蔵寺は、平安時代に仁明天皇の勅願所として建立されたといわれる寺院で、慈覚大師が疫神降伏の秘法を修した際に使われた宝剣が霊宝として伝えられています。

地蔵寺地蔵堂



▶この地蔵堂には、鎌倉時代前半に造られた木造地蔵菩薩立像（製法：一木割彫造）が安置されています。60年に一度開帳され、次の開帳は2051年の予定です。

木下別所廃寺跡



▶この付近の台地上から約1300年前の瓦が多数出土し、調査の結果、寺院があったことが分かりました。また、北側台地斜面からは、瓦窯跡も見つかっています。